

新春白部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

台風19号被害対策に246億円

被災農家全力で支援と大野知事

12月議会・企画財政委員会（秋山文和議員所属）にハッ場ダムの整備状況が報告され、審議しました。

ハッ場ダム治水効果 わずか17センチ

ハッ場ダムは2020年3月、完成予定で、地域振興費などを含めると総額6495億円（埼玉県負担867億円）に上ります。昭和42年着工以来50年が経過。途中無駄な公共事業として民主党政権時に事業が凍結された経緯があります。2019年10月から試験貯水を開始。台風19号で一気



秋山文和県議

に満水になりました。本稼働後の満水状態からでは、緊急放流もあり得る事態でした。利根川栗橋地点（久喜市）では計画水位高9・90mに対し13日早朝9・61mとなり、避難に要する時間などを考慮した氾濫危険水位8・90mを超えたため、春日部市や加須市で避難勧告が出されました。秋山議員は、この時点での堤防

との水位差を質問。2・6mあったと答弁がありました。

専門家の計算ではハッ場ダムの貯水で下がった水位は栗橋地点で17cmと推計されています。

豪雨対策はダムではなく、河川の浚渫を定期的に行い、河川整備計画に沿った河床面が維持されることが大切です。河道掘削が適切に行われていれば、今回の水位に達することはなかったと専門家指摘しています。

被災者に寄り添った 復旧支援を

12月県議会では、前原かづえ議員が一般質問を行いました。

- ①台風被害の復旧・復興を（生活・生業の再建、農家廃業を出さない、被災障害者への支援、都市内水被害を防ぐ、いち早い避難のために）②香りの害の広報を③公立・公的病院を守れ④納税者を守る税徴収を、の4項目です。

台風19号は、県内に死亡者3

名、重傷者1名、住家被害6254棟（全壊112、半壊166、床上浸水2255、床下浸水3370）、農業被害額79億円、堤防決壊5か所、道路損壊、通行止め129か所、1000万円以上の復旧対象29か所など大きな被害をもたらしました。

前原議員の質問に大野知事は、復旧・復興に全力を挙げることや土砂撤去、樹木伐採を行う計画的に河川整備を進めること、被災農家が一日も早く経営再建できるようにすると決意を答弁しました。農林部長は、農業用機械・畜舎等の修繕に、国補助に県・市町村が上乗せし農家負担を一部に抑えると答えました。このほか浸水住宅の応急修理には、支払いが済んでいない場合支援の対象にすること、要支援者の避難個別計画作成を市町村に働きかけることなどが答弁されました。県議会最終日の20日、台風19号被害対策に246億円の補正予算が可決されました。

大野とし子議員一般質問

障害者の居住の場の確保のため
に建設時に補助金を



12月4日、大野とし子議員は、①障害者の居住の場の確保のために、建設時に補助金を②遺族の手続きの負担軽減のために、ワンストップサービスコーナーの設置について一般質問を行いました。

家族の切実な声に耳を傾けて！

春日部市には、障害者の入所施設がありません。入所の状況は、北海道を含め、県外に27人、県内他市に166人です。

2016年12月議会において「障害者の生きる基盤となる暮らしの場の早急な整備を求める意見書」が全議員の賛成で採択されています。

この中で「入所施設等が不足し、多くの障害者が家族の介護に依存し、精神的にも経済的にも相互依存を助長し、障害者の自立を困難にしている。」と訴えています。入所施設建設をはじめとする、暮らしの場の確保は喫緊の課題です。

私財を出して施設建設に頑張ってきた保護者の皆さんも高齢になり、わが子の将来を心配しています。春日部市にいつ入所施設ができるのかと涙ながらに訴える皆さんの声は切実です。

大野議員は「第3期春日部市障害者計画において、入所施設建設については民間事業者を支援していくとあります。民間から相談があつたらではなく、市が積極的に提案し、民間事業者を支援していくべき」と市の考えを質しました。

福祉部長は、「障害のある方の高齢化や重度化、親亡き後を見据えると、入所施設やグループホームが市内に整備されることは居住の場の確保策としては有効と認識しております。国の方針もあり、第4期計画の中で、様々な声を聞き、総合的に考えていきたい。」との答弁にとどまりました。

大野議員は、「現時点で居住の場の確保に明確な計画がないのであれば、民間が建設する場合に補助金を出すなど支援していくべき。」と主張しました。

市長は、「障害のある人もない人も安心して暮らせる社会の実現に向け、総合的に障害者施策をすすめていく。」と具体的な答弁はありませんでした。

遺族の手続きの簡素化で優しい市役所に

遺族の手続きは、多岐にわたり、市においても18課42手続きとなります。高齢化社会となり、手続きはワンストップサービスで行う自治体が増えてきました。

大野議員は「高齢化率が30%をこえた市にとっても重要な施策と考えます。新庁舎建設の際に、ワンストップサービスコーナーの設置を」と訴えました。

市民生活部長は「窓口サービスの向上に努め、ご遺族の手続きにも懇切丁寧な案内にとめたい。」と答えました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外 小児救急電話相談#8000

12/29(日) 守田内科医院 (内科系) 南2-6-24 TEL737-6300 岡田病院 (小児科系) 一ノ割2-6-21

TEL735-7848 みやざわ耳鼻咽喉科 (外科系) 中央1-52-8 TEL745-8733

1/5(日) わかば内科医院 (内科系) 小淵1593 TEL753-3530 安達医院 (小児科系) 栄町3-287

TEL761-6398 佐藤整形外科 (外科系) 大場1358-3 TEL731-4550

